

# 日本生殖看護学会 ニュースレター

No.  
62

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

## 目次

・「不妊治療中の方への里親・特別養子縁組の情報提供方法に関する研究」による成果物(資料)のご紹介	1
・日本生殖看護学会20周年記念事業のお知らせと寄付のお願い	2
・第20回日本生殖看護学会学術集会のご案内	3
・研究結果をどう臨床に応用するか 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチと出会って	4
・第12回生殖看護関西地区実践セミナー報告	5
・論文を投稿しよう!	5
・これから行われる学術集会・研修会情報(2022年7月～2022年10月)	6
・不妊症看護認定看護師 リレー寄稿 No.19	7
・理事会報告	7
・事務局からのお知らせ	8
・会員数 MAP	8
・原稿を募集しています	8
・編集後記	8

## 「不妊治療中の方への里親・特別養子縁組の情報提供方法に関する研究」 による成果物(資料)のご紹介

内田クリニック 不妊症看護認定看護師 永島百合子

2022年4月より不妊治療の保険適用範囲が拡大され、多くの不妊カップルの経済的負担が軽減される事となります。これに伴い政府は、経済的な支援のほかに、子どもを育てたいと望むカップルに対して、里親・特別養子縁組についても選択肢の一つとして情報提供を行う事としています。しかしそうした情報提供は不妊治療実施医療機関において、施設によってばらつきがあり、明確な基準は示されていない状況です。私達看護職も、情報提供の時期や方法、必要な知識などが課題となっています。

このような課題に対して2021年厚生労働省における子ども・子育て支援推進調査研究事業「不妊治療中の方への里親・特別養子縁組の情報提供方法に関する研究」が進められ、医療者・心理職・養子縁組あわせん機関や里親の周知活動を行う援助者・教育者・不妊当事者団体・行政など10名の有識者による研究会が設置され、不妊症看護認定看護師として私も微力ながら参加をさせていただきました。2022年4月研究会の成果物として「不妊治療中の方への特別養子縁組制度・里親制度に関する周知啓発のリーフレット及びポスター」、不妊治療に携わる医療者のための「不妊治療中の方等への特別養子縁組制度・里親制度に関する情報提供の手引き」の作成に至りました。<https://sukoyaka21.mhlw.go.jp/useful-tools/thema1/> こちらからダウンロードが可能です。リーフレット及びポスターは臨床ですぐに利用可能な

内容です。情報提供の手引きは、量感のある冊子ですが、医療者として説明時に必要な制度情報、実際の情報提供のタイミングと手法、配慮すべき事項、また精神面への支援がまとめられています。相談窓口として児童相談所・民間あっせん機関の一覧が示されており、必要な内容はほぼ網羅されていると思います。

不妊治療中のカップルの中には、里親に関する情報提供のニーズが存在する事が先行研究で明らかになっています。現在日本で約4万5千人の社会的養護を必要とする子ども達と不妊カップルとを結びつけていく支援が、不妊治療に携わる医療者にも求められています。これら成果物(資料)を活用していただき、各医療機関において情報提供の方法を検討していただければと思います。



## 日本生殖看護学会20周年記念事業のお知らせと寄付のお願い

日本生殖看護学会理事長 上澤悦子

本学会は、不妊で悩む人々へのより良い看護支援への情報提供や研究支援を目的に活動し、お陰様で20周年を迎えることができました。皆様のご支援の賜物であり改めてお礼申し上げます。

20周年記念事業では、学会ホームページのリニューアルと生殖看護ガイドブック(仮)のテキスト出版の2つの事業を行います。

ホームページは数社からの見積もりをとり、不妊の専門性を活かしたホームページとなるよう情報提供と会員が使いやすいマイページの充実を目指して、現在、リニューアル作業を行っているところです。

また、生殖看護ガイドブックは、2023年8月末に医学書院からの出版を目指しています。

臨床での初学者や経験豊富な実践家にも、エビデンスに基づいたケアや、欲しい情報がある生殖看護ガイドラインとしてのテキストとするためには、300頁相当とする必要があり、価格も4,500円程度の予定です。会員の皆様にもご購入いただきやすい値段設定にするため、出版に必要な予算を確保する必要があります。そのため、学会費から一部支出をお願いする予定ですが(総会審議予定)、目標額200万円として会員様から寄付をお願いしたいのです。1口2,000円として2口程度をご依頼したく、今後のご案内へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

### 日本生殖看護学会ホームページのリニューアルに向けて

この度、学会HPをリニューアルすることになりました。内容や機能の充実を図り、誰もが使いやすいHP作成を目指していきます。皆様のご意見やご希望を [sakiyama.takayo.xk@ehime-u.ac.jp](mailto:sakiyama.takayo.xk@ehime-u.ac.jp)まで、ぜひお寄せください!

日本生殖看護学会広報委員会

## 第20回日本生殖看護学会学術集会のご案内

開催日：2022年9月4日(日)9：00～17：00

開催方法：Webオンライン&オンデマンド

メインテーマは、「SDGsの視点から性と生殖の健康支援を再考する」としました。

2015年に国連サミットで採択されたSDGs：Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた、17つの国際目標です。日々の看護実践をする上で意識しにくい大きなテーマですが、未曾有の感染症拡大やIT技術の一般化、不妊治療の保険適用化など環境が大きく変化するこの時代において、妊娠を望む方々や自分らしい生き方を望む方の健康支援を考える上で軸となるものだと考えています。ぜひ皆さんと一緒に今の時代、そしてこれからの時代のめざすべき性と生殖の健康支援について考えたいと企画しました。多くの皆様の御参加を心よりお待ちしております。

### ◆プログラム（予告なく変更となる場合がございます）

09：00～	開会式・オリエンテーション
09：05～09：25	会長講演「看護実践のその先へ」 西岡 有可氏（株式会社ファミワン 不妊症看護認定看護師）
09：25～10：10	教育講演「生殖看護はSDGsか」 村上 芽氏（株式会社日本総合研究所 創発戦略センターシニアマネジャー）
10：15～11：00	特別講演「不妊治療の保険適用化の動向と現状」 原澤 朋史氏（厚生労働省 保健局医療課 医系技官）
11：05～12：05	一般演題（口演発表・ポスター発表）
12：10～13：00	協賛セミナー 株式会社アイジェノミクス・ジャパン
13：00～14：50	シンポジウム1「不妊とSDGs — すべての人の性と生殖の健康を目指して —」 大須賀 穰氏（東京大学 医学系研究科産婦人科学講座 教授） 宮路 拓馬氏（自由民主党衆議院議員 内閣府政務官） 横井 ナナ氏（国際協力NGOジョイセフ パートナーシップグループ長） 田村 有樹子氏（株式会社サイバーエージェント 人事部）
15：00～16：15	シンポジウム2「不妊治療は保険適用でどう変わったか」 杉山 力一氏（杉山産婦人科 理事長） 村上 貴美子氏（蔵本ウイメンズクリニック 副院長 不妊症看護認定看護師） 東尾 理子氏（妊活研究会 主宰）
16：20～16：50	不妊症看護認定看護師特別企画 一般婦人科におけるCN看護相談 白田 浩美氏（茅場町いとう病院） 地域でのCN実践報告 大嶺 美幸氏（友愛医療センター）
16：50～16：55	優秀演題表彰
16：55～17：00	閉会式

### ◆学術集会参加費

事前登録のみ：会員5,000円 / 非会員6,000円 / 学生(大学院生は除く)2,000円

### ◆一般演題募集

演題および抄録登録締切日：2022年5月13日

### ◆お問い合わせ先

第20回日本生殖看護学会学術集会 事務局

〒107-0062 東京都港区南青山7-3-6 南青山HYビル7F 荒井財団  
株式会社ファミワン内

事務局E-mailアドレス：jsfn20th@academic-meeting.com

学術集会HPアドレス：https://academic-meeting.com/jsfn20th

# 研 究結果をどう臨床に応用するか >>>>>

## 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチと出会って

名桜大学 阿部正子

私が研究に初めて着手したのは20年前、大学院生時代です。体外受精を受療する女性たち14名にインタビューを行いました。彼女たちは、時間的にも経済的にも大変だけれど体外受精を自分で選んだ自負と、子どもが持てるかもしれないという希望に満ちていました。同時に私は、その当時主流だった量的研究で描かれた患者像との違いに戸惑ったことを覚えています。この生き生きとした姿をどうしたら描けるのか、質的データの豊富なディテールを損なうことなく看護に生かせる知見を提示する方法はないかと模索した時に出会ったのが『修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（以下M-GTA）<sup>1)</sup>』でした。

M-GTAは人間行動の説明と予測が可能な実践的理論を生成する質的研究のアプローチです。不妊治療が組み込まれた日常生活では、受療中の女性を中心に夫や家族、友人、看護師、不妊カウンセラーやIVFコーディネーター、胚培養士、医師らと様々なやり取り（相互作用）が展開されます。その相互作用に注目して生成された理論は、受療中の女性に誰がどういうときに、どういふかわり方をすればベターな形になりうるのかといった具体的な活用の仕方を提示できる強みがあります<sup>2)</sup>。

例えば、不妊治療の長期化により女性は夫や家族など他者の反応を敏感に捉え、彼らの期待に応じたいという欲求が高まり、治療目的が曖昧になることが理論で示されていました。その理論を40歳以上のART反復不成功の女性の不妊カウンセリングを担当する際に応用し、女性の意思決定を支援するには、治療の継続が他者による外発的動機ではないかどうか確かめる必要があります。実際に担当した女性は“両親のこととかを考えると、孫の顔がどうのこうのってねえ、自分のためにとというよりはそっちの方が強いかもしれないですね”と振り返っていました。こうして理論を手掛かりに介入の適時を見極め働きかけることにより、女性自身で不妊治療を続ける意味を問いながら自律的選択ができる方向へ導く支援を提供できるのです。この相談の終盤に女性は、“見失っていたところはあるかもしれない、自分の意思だけじゃない感じで流れていく。それを立ち止まって考えられた。”と笑顔で話されました。その1か月後、夫と相談し“チャイルドフリー”という人生を選ばれました。

このようにM-GTAによって生成された理論は、応用を通して看護ケアとそのケアがもたらす効果を知ることにもつながります。これを機に、皆様に質的研究の可能性について興味をもって頂ければ幸いです。

1)木下康仁：定本 M-GTA 実践の理論化をめざす質的研究方法論，医学書院，東京，2020

2)阿部正子：体外受精を受療している不妊女性の治療継続の経験的プロセス，日本生殖看護学会誌，4 (1)，34-41，2007

## 第12回生殖看護関西地区実践セミナー報告

報告者：IVFなんばクリニック 皆吉田 津子  
妊活応援 山本助産院 山本 和江  
英ウイメンズクリニック 藤田 陽子  
桂川レディースクリニック 酒井 まゆみ

2022年4月24日(日)、「二人目不妊カップルを支援しよう」をテーマに武蔵野大学看護学部の坂上明子先生を講師にお招きして、オンラインセミナーを開催しました。講演1では、次子の妊娠に対する不安や不妊治療に対する精神的負担について考えることができ、寄り添った対応が十分に行えていない現実を実感しました。ワークではどの参加者も主体的に発言しており意識の高さを感じました。講演2では第一子の時とは身体的・環境的に異なっていることを医療者が理解し、支援・配慮を行う必要性を学びました。質疑応答では、第三者との関りが影響し気持ちが揺らぐことがある二人目不妊の特長について、全体での意見交換に発展しました。

事後アンケートの結果からは、新しい知見を得、実践への活用度に関しての評価が高く、実践セミナーとしての目的を充分に果たすことができたと考えます。運営としてはグループワーク時のグループ分けがスムーズに行えないなどの不具合が数点発生しました。今後の課題として、通信環境整備や技術の習得・イレギュラー時の対応など高度な能力が必要だと考えます。

お忙しい中講師を快諾していただきました坂上明子先生、教育推進委員会の先生方、参加いただいた皆様へ感謝申し上げます。

### 論文を投稿しよう！



第20回日本生殖看護学会学術集会において演題発表の準備を進めておられる皆様、過去の演題発表をまだ論文にしておられない皆様も、日本生殖看護学会誌に投稿してみませんか？

学会誌に論文が掲載されることは、生殖看護の質の向上につながります。さらに研究に協力してくださった方々へ感謝の気持ちを示すことにもなります。

査読が厳しいのでは…と思われるかもしれませんが、それは査読が研究指導とは異なる側面をもつためです。査読者の助言を受けることは質の高い論文を作成するために不可欠な過程であり、投稿者にとっては研究内容を多角的に深める機会にもなります。

日本生殖看護学会誌 第20巻第1号への投稿締め切りは、**2022年11月25日(金)**です。詳細はお手元の当学会誌や学会HPに掲載されている「論文投稿規定」にてご確認ください。

皆様からの投稿を心よりお待ちしております。

編集委員会



## これから行われる学術集会・研修会情報 (2022年7月～2022年10月)

月	日	学会・研修会名	会 場	学会 HP / 運営事務局
7月	28日(木) ～29日(金)	日本受精着床学会(第40回) テーマ:「ART保険適用元年」 ～今何ができる?	京王プラザホテル (東京都新宿区)	<a href="http://jsfi40.umin.jp/index.html">http://jsfi40.umin.jp/index.html</a> 【運営事務局】 (株)コンベックス内 〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9 TEL: 03-3505-1608 E-mail: jsfi40@convex.co.jp
8月	19日(金) ～21日(日)	日本思春期学会(第41回) テーマ: 思春期を支援するための科学的根拠をもとう	オンライン開催	<a href="http://www.pw-co.jp/41jsa2022/index.html">http://www.pw-co.jp/41jsa2022/index.html</a> 【運営事務局】 株式会社プランニングウィル内 〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-5 石渡ビル 6F TEL: 03-6801-8084 E-mail: 41jsa2022@pw-co.jp
	27日(土) ～28日(日)	日本遺伝看護学会(第22回) テーマ:「自分らしく生きる」を支える遺伝看護～多様であることの可能性	オンライン開催	<a href="https://www.ec-pro.co.jp/JSGN2022/">https://www.ec-pro.co.jp/JSGN2022/</a> 【運営事務局】 株式会社イー・シー・プロ 〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目8-3 北口ヨシヤビル 5F TEL: 011-299-5910 FAX: 011-299-5911 E-mail: jsgn2022@ec-pro.co.jp
9月	4日(日)	日本生殖看護学会(第20回) テーマ: SDGsの視点から性と生殖の健康支援を再考する	オンライン& オンデマンド開催	<a href="https://academic-meeting.com/jsfn20th/">https://academic-meeting.com/jsfn20th/</a> 【学会事務局】 株式会社ファミワン内 〒107-0062 東京都港区南青山7-3-6 南青山HYビル 7F 荒井財団 E-mail: jsfn20th@academic-meeting.com
	9日(金) ～10日(土)	日本母性衛生学会(第63回) テーマ: みんなで語ろう～女性・子ども・家族の健康とSDGs～	神戸国際会議場 (兵庫県神戸市) ※対面及び オンデマンド配信	<a href="https://site.convention.co.jp/jsmh63/">https://site.convention.co.jp/jsmh63/</a> 【運営事務局】 日本コンベンションサービス株式会社 神戸支社 〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1 神戸国際交流会館6階 TEL: 078-303-1101

**不妊症看護認定看護師  
リレー寄稿**

No.19

**「保険診療が始まって」**

まるたARTクリニック 小池弘子

こんにちは、名古屋市内で一昨年3月に以前所属の法人から独立開業した、まるたARTクリニックで生殖看護に携わっている小池弘子です。神戸一期生になります。

4月から生殖医療の保険適用が始まりました。薬剤や治療法、凍結胚の更新、保険回数の確認方法などの施設でも対応に追われた事と思います。

当院でも日々患者様から問合せがあり、厚労省からの冊子で確認したり担当厚生局に問合せわしたりと対応をしております。

2ヶ月が経過して、4月のレセプトの返戻がありました。拍子抜けした部分と審査する側も様子を見ている様に感じています。

保険適用になり、若い患者様にとって恩恵を受けられる治療となりました。しかし43歳前後の患者様にとっては厳しい現実を突きつけられ、焦りも感じられます。一部市町村では独自の助成金制度も始まりました。保険診療のメリットデメリットを知った上で治療を選択できると、良いなと感じながら日々仕事しております。次にバトンを渡すのは日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の加藤佳代子さんです。

**理事会報告****第2回 Web 理事会**

日時：2022年3月3日(木)18:00～19:30

方法：Web会議(Zoom)

出席者：上澤，森明，實崎，崎山，坂上，清水，奥島，  
中村，村本，野澤，小松原，森恵，  
西岡(オブザーバー) (敬称略)

**【報告事項】**

- 1) 第20回日本生殖看護学会学術集会の進捗状況
- 2) 広報委員会：学会ホームページについて、進捗状況
- 3) 将来検討委員会：研究支援なんでも相談会について
- 4) 教育推進委員会：2021年度不妊症看護認定看護師  
ポストコース研修会について
- 5) 編集委員会：第19巻の編集について
- 6) 実践開発委員会：CNの受託事業について
- 7) 看保連対応WG：令和3年度3検討委員会合同会議
- 8) 健やか親子21推進協議会WG：健やか親子21推進  
本部総会

**【審議事項】**

- 1) 入会審査：1名の入会を承認
- 2) JSFN20周年記念企画について
- 3) テキスト編集特別委員会メンバー & 生殖看護テキスト  
構成について
- 4) 第21回学術集會会長の推薦について

**第3回臨時 Web 理事会**

日時：2022年4月22日(金)18:00～19:40

方法：Web会議(Zoom)

出席者：上澤，奥島，小松原，坂上，崎山，實崎，清水，  
中村，野澤，村本，森明  
欠席者：森恵(敬称略)

**【審議事項】**

- 1) HPリニューアル契約について
- 2) 生殖看護テキスト作成の契約について
- 3) 第21回学術集會会長について
- 4) 入会審査：6名の入会を承認

第3回理事会開催日：2022年8月19日(金)18:00～の予定

## 事務局からのお知らせ

1. 第20回学術集会、編集委員会への問い合わせは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailで気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。住所・勤務先変更届はホームページからダウンロードできます。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数334名(2022年4月30日現在)です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

### 日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN

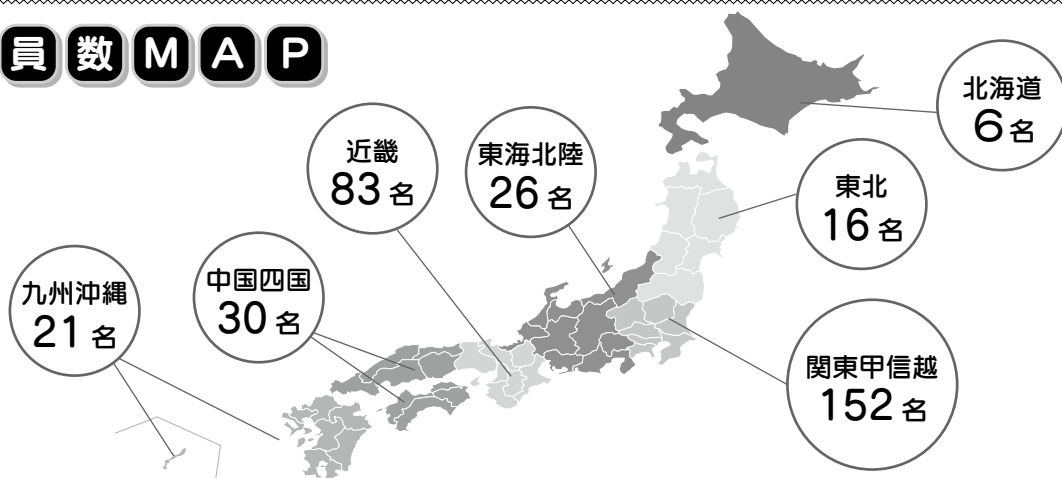
〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 東京工科大学医療保健学部看護学科内

TEL 03-5779-5032 (内線216) E-mail : jsfnjimu@gmail.com

ホームページ <http://jsin.umin.jp>

口座番号：00170-2-333413 加入者名：日本生殖看護学会

## 会員数MAP



## 原稿を募集しています！

ニュースレターを通じて実践活動や勉強会などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は広報委員会 (sakiyama.takayo@gmail.com) までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2022年9月26日(月)を予定しています。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の状況は不安定ではありますが、感染予防における「新しい生活様式」は少しずつ「前の生活様式」に戻ってきているといえるのでしょうか。対面開催の学会やセミナーなども少しずつ増えており、今年の学術集会はいよいよ最後のオンライン開催になるかもしれませんね。リモートワークやオンライン授業、施設における感染対策など様々な対応が求められました。これらの経験を通して私たちの柔軟性は高まったような気がしています。

広報委員会 崎山貴代、阿部正子、小池弘子